

医療生活協同組合養生会

2015年度第2回保健講座を開催

8月29日(土)、大原地域活動センターにて2015年度2回目の保健講座を開催しました。「医療・介護に関わる困りごと」を3人の方からご発言いただき、アドバイザーが助言させていただくという形式で行いました。アドバイザーとして、当生協伊藤恵子理事長(セツルメント菊坂診療所所長)、平畑静江看護部長(同診療所師長)、東京保健生協・東京健生病院河西亜子医療福祉相談課長の3方をお願いしました。



最初の方からは、ご自身の膝関節痛についての状況が語られ、変形性膝関節症は手術でないと根治出来ないのか、生活不活発病とはどの



のようなものかについてご質問をいただきました。伊藤所長から、骨と筋肉を鍛えることで運動機能の障害を防げることが説明され、無理のない範囲で日常生活を活発にすることが生活不活発病を防ぐというアドバイスがありました。河西課長からは、介護予防の施設も様々な形で利用できる場所があるので、ご自身の要望に合わせて利用してみてもいいという助言がありました。

2人目・3人目の方からは、地域での家族の介護についての悩みと相談がありました。セツルメント菊坂診療所所長の在宅医療を受けておられた方が東京健生病院の地域包括ケア病棟へ入院し、医療療養型病棟へ転棟した事例については、3人のアドバイザーから補足報告も含めて発言がありました。平畑師長からは、介護に関する相談は非常に個別性が高いので、対応も千差万別になる。どうしようもないところ



まで頑張りすぎないで、早めに診療所に相談してほしい、という助言がありました。河西課長からも、病院の相談室というのは、入院された患者さまを中心に、相談者の個別状況をお聞きし、困っていることを解決する方法を考える、そういう部署なので、どなたでもお気軽に相談してほしいという話をいただきました。



会場ご近所の方が当日チラシを見てお出でいただくこともできました。総勢35名の参加でいい学びの場になったようでした。